



市議会議員 上田由美子 68-2106 Fax 68-2146



参議院議員 井上さとし



前衆院議員 藤野保史

核兵器をめぐる国際情勢と日本の果たすべき役割

笠井亮衆院議員が講演



北陸原水協学校 北陸三県の「原水協学校」が2023年1月28日にオンラインで開かれ、小矢部教室が市民交流プラザに設けられました(写真)。

講師は被爆2世で日本共産党の衆議院議員でもある笠井亮さんで、日本原水協の代表として昨年(2022年)6月の核兵器禁止条約締約国会議(ウィーン・オーストリア)などの国際会議に参加し、8月のNPT再検討会議(ニューヨーク)ではNGO(非政府組織)分科会で最初に発言されました。以下「核兵器をめぐる国際情勢と日本の果たすべき役割」と題した講演の中で、強く印象付け

られた事を紹介します。

「核禁条約」は希望の光

第1は、世界の世論は、ロシアのウクライナ侵略によって、「ロシアによる核使用・威嚇は絶対に許さない」という決意にあふれている、ということ。

それはいつそう核兵器禁止条約の価値を高め、締約国会議議長コメント氏は「核禁止条約」を「希望の光」と呼びました。

「核抑止論の破たん」が口々に

第2は、核兵器「抑止論」の破たん。核保有国が防戦に回らざるを得ず、追い詰められているというところ。

核抑止論は「核兵器を保有する双方の指導者が、自国民に犠牲を出すことは避ける」との大前提でありながら、「いざという時には核ボタンを押す」という矛盾した論理です。プーチンのように、自国民に犠牲を出すことも、全人類の絶滅をも躊躇しない指導者が登場した下では「作用(work)しない」。議場では(does not work)の語が次々に繰り返されました。

被爆国日本政府がアメリカ政府と 同一步調の理不尽さ

被爆国日本政府が

アメリカ政府と

同一步調の理不尽さ

第3は、核保有国が、互いに相手国を「脅威」に仕立て上げて、いつそう軍事対軍事の

対決を強めていること。

特に、唯一の被爆国であり、核保有国でもない日本政府が、唯一の原爆使用国・最大の保有国であるアメリカ政府と同一步調をとることの理不尽さ！ 日本政府はアメリカに云われて、憲法を無力化し、専守防衛の「国是」をも投げ捨てて、敵基地攻撃能力を保持することを閣議決定しました。

国際社会から

日本原水協の努力にスポットが

第4は、逆流渦巻く日本にあつて、被爆の事実を決して忘れず、平和と民主主義を実現しようががんばってきた、日本原水協を中心とした市民社会の努力がスポットを浴びていること。

NPT再検討会議の際、マクブライド平和賞が原水協代表理事の高草木氏に贈られ、国連本会議場でのNGO分科会の最初の発言者に笠井氏が指名されました。国連が、日本原水協の根拠を支えている科学的社会主義者たちの力をいつそう発揮させようという配慮が熱く感じられました。

政界川柳

荒川翔平

プーチンが核を片手に吠えている

政界狂歌

昭和の潜人

争いを防ぐ手立ては 話し合い又話し合い 続話し合い

どうする 男女共同参画社会へ(1)

ここに注目 上田由美子市議

今、小矢部市男女共同参画プラン(第3次、2023年度から10年間)(案)が小矢部市ホームページの定住支援課コーナーにアップされ、パブリックコメントを募集しています(小矢部市HP↓新着情報「男女共同参画」)。多くのみなさんがこのプラン(案)を一読されることをお勧めします。アンケート結果は後半に記載されています。なお、パブリックコメントの提出期限は、2月28日です。次のQRコードから見る事ができます。

アンケートにみる

男女共同参画 市民意識は?



「男女共同参画に関するアンケート調査」が2022年9月〜10月に実施され、無作為抽出された800人(小矢部市在住18歳〜89歳の男女)のうち、295人から回答を得ました。

市民意識の高まり

「夫は仕事、妻は家庭」に反対

その中で私が注目したのは、「夫は外で働き、妻は家を守るべきである」という問いについて、反対とどちらかといえば反対の人が合わせて62.1%に達していることです。ちなみに、賛成とどちらかといえば賛成は合わせて22.7%でした。ここに市民意識の高まりをみました。

実際は「妻が家事」が多いのでは

しかし、その意識の高まりにもかかわらず、実際には妻が担当している日常の家事が多いのが現状です。掃除48.1%、食事のしたく72.2%、食事のあとかたづけ・食器洗い52.5%、洗濯は61.7%が妻担当です。ゴミ出しは夫の担当が36.9%で妻よりも多くなっています。

日常ではなく時々行う家事では、家・家具などの点検修理が夫担当53.2%、庭の手入れは夫担当30.5%です。

育児は、妻担当が46%、夫婦共同41.3%、お年寄りの介護は、妻担当37.1%、夫婦共同33.9%です。

このアンケート結果を考慮しながら、小矢部市男女共同参画プラン(第3次)(案)を検討することが大切だと思います。(つづく)